

Diversity & Inclusion

(多様性の包摂) 社会の 実現に向けて



三井物産社長

安永 竜夫

やすなが たつお

世界中で新型コロナウイルスの感染が広がるなか、医療関係者をはじめ内外各地においてライフライン維持、製造現場や拠点の運営に尽力されている多くの方々には心より感謝申しあげる。一刻も早い事態の改善と皆様の健康と安全を切に願う次第である。世界に広がる反グローバリズムの高まりと米中覇権争いの激化による景気下押し圧力、サプライチェーン再構築の流れは、コロナ感染拡大により加速し、さらに、人流・物流の蒸発による影響が広範囲に波及し、長期にわたり社会・経済活動の制約になることを覚悟する必要がある。

危機対応のサイバー戦略ならびに緊急支援策とともに、感染症対策と経済活動を両立する新たな働き方の体制づくりが急務である。わが国は、少子高齢化に起因する成長率低下と労働力不足、財政・社会保障の課題に直面している。ニューノーマル(新常态)の世界では、デジタル技術活用によるリモートワークの常態化や非接触型ビジネスの進化、業務プロセスの最適化・迅速化、データドリブン経営による生産性向上が期待される。新たな働き方は雇用システムを抜本的に見直す機会につながる。検査・感染症対策はもちろん、教育・医療制度改革、そして都市機能や交通体系にまで影響を与える可能性がある。

世界を見渡しても、国際秩序の複雑化・サプライチェーンの分散化が進むとともに、気候変動や健康・安全への意識が高まっていくと予想される。一方で、ミレニウム世代による消費性向の変化、新興国の社会インフラ整備のニーズ、ESG(環境・社会・ガバナンス)の重要性なども、変わらぬ流れとして着目すべきであろう。

この大きなうねりのなかで、わが国は、分断が進む世界において国際連携を促す役割を担い、課題先進国の経験知をソリューションとして世界に発信していく必要がある。そのためには、デジタル・医療・介護等のさまざまな分野において海外の優秀な人材を受け入れ、多様な価値観が共存する社会を育みながら、課題に対峙していくこと、すなわちダイバーシティ&インクルージョンが一層重要になるだろう。ラグビー日本代表のごとく、多様な個が有機的に結び付いた社会の実現に向けて、企業・組織の枠を超えた連携の強化が鍵を握ると考える。

かかる状況のなかで副会長を拝命し、その重責に身が引き締まる思いである。与えられた使命を果たし、わが国経済の持続的成長に貢献すべく、皆様のご指導・ご支援をいただきながら全力を尽くしてまいります。